

平成十八年年頭の「ごあいさつ」

日高川町長 笹 朝一



明けましておめでとございます。

昨年は日高川町が誕生した記念すべき年でした。この年に当たり、多くの皆様の温かいご理解とご協力を頂き、町長に着任させて頂きありがとうございました。

新町「日高川町」が誕生して初めての新春、町民の皆様の多くは明るく楽しいお正月をこ家庭で迎えられたことと存じます。新春に当たり、あらためて二万二六〇〇人の町民の皆様への信託の重さを肝に銘じ、町政の難問打開と変化への対応に決意を新たにしているところであります。皆様も今年は何かをしようと元旦の決意を新たにされたことでしょうか。昨年の暮れに第一日高川町長杯の

少年野球大会とジュニアバレー

大会が美山区若者広場等で開かれ、町の将来を担う未来ある子ども達が多く参加し、ひとつの同じ町の子どもにもなつた今、仲良く一堂に集り走り回る姿は、我が町の躍動感を感じ、将来を楽しませる光景でした。また、年末には美山愛徳荘での

全町内老人クラブ役員の皆様が一堂に会して、町内それぞれが一堂に会して、町内それぞれのまちむらの歴史と文化を語り合い、ひとつになった日高川町民が和気あいあいと夜の更けるのを忘れて昔を偲び合い、「町がひとつになった。これからもどうぞよろしく」と町の将来とパワーアップ、そしてお互いの長寿を約し合う力強い姿でありました。

町内を滔々と流れる清流日高川。全長一〇〇kmを越える川は我が町の誇れる母なる川で、大自然は素晴らしい四季を与え、恵みを与えてくれます。我々はその流れに感謝し、大切にしなければなりません。

昨年は全国的な市町村合併の最盛期で、今年には和歌山県下

の市町村が三〇市町村になる

予定です。今年も地方分権社会の本格的構築が進んでいきますが、地方自治体は自己決定、自己責任の幅を大きくし、自らが力強く歩き出さなくてはならないときが来ています。創意工夫に富んだ施策を展開して

ゆき、町民の皆様の喜んで頂ける豊かさやゆとりのある地域社会づくり、多様な個性ある町づくり、そして合併して良かったと言える町づくりに励まなくてはなりません。悠久の歴史をもつ日高川の流れが止まらないのと同じく、町の行政も歩みを止めることはできません。過去、現在、未来と悠久のときが刻む地方の行政については、そこに住む住民が最もよく知っています。我々に任して下さいと手を挙げて皆様が参加して、知恵と汗を出し、元気な日高川町をつくりていきましょう。町長室へも是非入ってきて下さい。

今年も町民の皆様の温かい御理解と御協力をお願い申し上げます。御健康と御多幸をお祈りしてご挨拶と致します。

町議会議長 林 雅臣



新年あけましておめでとございます。

日高川町議会を代表して新年のご挨拶を申し上げます。

昨年五月二日、町民皆様の深いご理解とご協力を頂き、大きな夢と希望を持って三町村が合併し、日高川町が誕生しました。以来、住民の皆様が率先して新しい町づくりのために融合を計って努力して頂いている事に、心から感謝を申し上げます。

平成十八年の新年を迎えましたが、国内の経済は株式をはじめ、一部で好況の所もありますが、まだまだ地方にとっては厳しいものであります。いよいよ今年から三位一体改革が本格化するわけですが、地方自治体の財政は暗中模索であり

ます。地方にとつて遅れた道路整備を進める唯一の頼みの綱である道路特定財源の見直しをはじめ、国の改革はどんどん進んで行くと思われませんが、私達は今、合併した新しい町をより発展させて行くためにも農業、商工業等の振興、福祉、教育の充実、合併して山積している諸問題に敢然と立ち向かい、議会と執行部が一致協力して将来続いていくであろう新日高川町のまちづくりに邁進していく所存であります。

新年を迎えられた町民皆様のご多幸をお祈りしつつ、今後とも宜しくご指導とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。





秋の褒章・叙勲受章



11月に秋の褒章、叙勲の受章者が発表され、堺好孝さん（寒川）が人権擁護功績で藍綬褒章、池本功さん（初湯川）が地方自治功労で旭日小綬章、赤松壽男さん（原日浦）が地方教育行政で旭日双光章を受章されました。おめでとうございます。

旭日双光章



赤松 壽男さん
(77歳)
原日浦

旧中津村長を4期16年間務められた後、平成8年に県教育委員会委員に就任され、平成13年から2年間は同委員長として、県内学校教育の改革に優れた指導力を発揮し、県立高校の入学者選抜制度改革、通学区域撤廃、学科改編、中

高一貫教育の推進、スポーツ振興など県教育行政の活性化と発展に貢献されました。

旭日小綬章



池本 功さん
(72歳)
初湯川

旧美山村長を6期21年間務められ、農業・林業振興を始め、「地域の発展は道路体系の確保にある」と、白馬トンネル、糠越トンネル、林道川合湯の又線などの整備を推進。又、温泉館、キャンプ場、藤棚ロード、産品販売所など交流・体験施

設の整備、企業誘致等地域活性化に努められ、上水道事業、社会福祉の充実などにも手腕を発揮され村勢発展に貢献されました。

藍綬褒章



堺 好孝さん
(66歳)
寒川

昭和50年に人権擁護委員に委嘱され、地域の中で人権思想を広め、人権を擁護していくという基本理念のもと、10期30年にわたり福祉、同和、土地境界などの問題解決、人権教育の普及・啓発に取り組み、人々の良き相談相手として地域

発展と住民の幸せのために尽くされました。平成6年には法務大臣表彰を受賞され、現在は御坊人権擁護委員協議会の副会長と和歌山県人権擁護委員連合会理事を務められています。

